

令和6年度 宗谷複式教育連盟 交流紙 あしたもともだち
研究主題：『自分の思いを的確に伝える子の育成』
～思考力と表現力を高める工夫を通して～

利尻町複式教育研究部会（利尻町立仙法志小学校）

1. 研究主題について

主題設定について

本校の研究は児童の資質・能力を育てることを目的とした実践研究であり、児童の現状に即するため単年度の研究を行っている。今年度は、これまでの対話的活動を継続しつつ、さらに思考力と表現力を高めるための工夫をしていくことをめざし、本研究主題を設定した。

研究内容

【1】対話的な学びの工夫

- ①子ども同士の協議・討議の進め方を身につけさせる手立て
- ②自他の考えの共通点と相違点を理解させる手立て
- ③根拠を明確にして、他者の考えに対する自分の考えを表明させる手立て

【2】思考力と表現力の向上

- ①問題の意図を読み取り、図に表す力（主に算数科において）
- ②筋道立てて発表する力
- ③疑問をもって聞く力
- ④考えをまとめる力

2. オンライン学習などICT活用状況

本校は平成29年度に「ICT活用教育促進事業」に参加し、当時より一人一台端末の体制が整えられている。現在も授業内におけるICTの効果的な活用をめざし、学習ソフトの導入、写真や動画の撮影や調べ学習、パワーポイントを活用した発表活動等、日常的にICTが活用されている。

今年度は近隣校の杓形小学校と合同で行っている修学旅行や宿泊学習の子ども達同士の会議をズームで行った他、算数や外国語を中心にデジタル教科書の活用が進んでいるなど、様々な場面で効果的な活用が行われている。

さらに今年度より、町内の小中学校の1人1台端末にGoogle workspaceのアカウントが設定され、classroomを活用した取り組みが進むなどICTの活用がより進んだ。



3. 利尻島教育研究大会の様子

9月20日に「利尻島教育研究大会」が本校を含む利尻町内3小中学校で開催され、島内の教職員が学びを深めた。

本校は3・4年生学級の「書道」の授業を公開し、校内で研究を進めている「対話的な学びの工夫」「思考力と表現力の向上」について研究の成果を発表することができた。また、本校に来校された方々からも、授業を参観したことで多くのヒントがあった等、前向きな意見感想を多くいただくことができた。



4. 今後の方向性

本校の研究の様子

本校では日常の授業の様子をビデオに撮影し、その動画をもとに検証を進めるビデオリフレクションを定期的に行っている。研修の中では「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」「ICTの効果的活動」がどうあるべきか「課題設定の在り方」「対話活動の在り方」などを中心に協議を進め、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし日々研究を進めている。

令和7年度に向けて

今年度進めてきた今求められている授業をめざす校内研修を軸に、育成すべき資質能力として「表現力」と「読む力」に重点を置き、校内のみならず利尻富士町の複式部会や町内小中学校とのさらなる連携を進めていく。